

日本共産党

西宮市会議員団ニュース

(発行) 日本共産党西宮市会議員団
(2020.2.9 No.706)
西宮市六湛寺町 10-3 (西宮市議会内)
TEL35-3368 FAX・22-7815
Eメール nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

先進的な取り組みを学ぶため東京に団視察

1月22日～24日にかけて、共産党議員団4人で東京へ管外視察に行ってきました。3日間で5ヶ所の自治体を回り、**ゴミ減量対策・パートナーシップ証明制度・特殊詐欺対策・中学校制服の選択自由化・国民健康保険の均等割り軽減政策**について学んできました。

ゴミ減量対策(八王子市)



八王子市では2004年からゴミ袋有料化(40ℓゴミ袋1枚75円)および戸別収集をスタートさせました。この背景には最終処分場不足の問題があったわけですが、これをきっかけにゴミの資源化(分別)が進み(有料なのは可燃ゴミ袋・不燃ゴミ袋のみで、プラゴミ等の袋は無料なので、分別が進む)、今では**“日本一可燃ゴミの少ない市”**になっています。しかし、ゴミ袋の有料化には当然抵抗があり、導入するまでに市は「1700回」の説明会を行ったそうです。また、オムツ袋・ボランティア袋(ボランティアで集めたゴミを入れる袋)などは無料で配布し、さらに低所得者層にも無料で配布するなど不公平感が出ないような配慮も行われていました。

これをきっかけにゴミの資源化(分別)が進み(有料なのは可燃ゴミ袋・不燃ゴミ袋のみで、プラゴミ等の袋は無料なので、分別が進む)、今では**“日本一可燃ゴミの少ない市”**になっています。しかし、ゴミ袋の有料化には当然抵抗があり、導入するまでに市は「1700回」の説明会を行ったそうです。また、オムツ袋・ボランティア袋(ボランティアで集めたゴミを入れる袋)などは無料で配布し、さらに低所得者層にも無料で配布するなど不公平感が出ないような配慮も行われていました。

中学校制服選択自由化(世田谷区)



世田谷区では2019年より、**男女関係なく制服(標準服)**選択できるようにしました。LGBTの生徒たちへの対応です。同時に校則も見直し、“男子は～、女子は～”というような**性別で区別するような校則をなくしました**。西宮市では苦楽園中が制服の自由化に対応していますが、全市的には行われていません。LGBTの子どもたちの権利を守るためにも、早急に導入すべきと考えます。

世田谷区では2019年より、**男女関係なく制服(標準服)**選択できるようにしました。LGBTの生徒たちへの対応です。同時に校則も見直し、“男子は～、女子は～”というような**性別で区別するような校則をなくしました**。西宮市では苦楽園中が制服の自由化に対応していますが、全市的には行われていません。LGBTの子どもたちの権利を守るためにも、早急に導入すべきと考えます。

特殊詐欺対策(荒川区)



荒川区(人口約22万)では年間約1億7千万の予算をかけ、**電話自動通話録音機の無料設置(5000台目標)**を推進するなど徹底した**特殊詐欺対策**を行い、東京23区内では2017年度の発生件数・被害額とも最少に(38件, 5794万円)。西宮は2019年度107件の被害がありましたが対策は進んでおらず、自動通話録音機の無料設置は150台にとどまります。

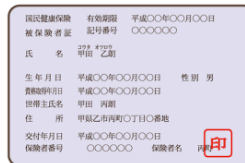
パートナーシップ証明制度(渋谷区)



←渋谷区のレインボーアイリス
(LGBTの尊厳の象徴)

2015年、日本で初めて渋谷区で**「同性パートナーシップ証明制度」**が開始されました。LGBTのカップルの方々が一番困るのが**“家”**と**“病院”**。パートナーとして同居したくても連帯でローンを組めなかったり、入院時の同意書が書けなかったりしました。この制度のおかげでLGBTカップルは当然の社会サービスを使うことができるようになり、全国に広がってきています。党としてジェンダー平等を大きく掲げた今、西宮でも制定に向け積極的に取り組んでいきます。

国保均等割り軽減(昭島市)



世帯の国保加入人数が増えるほど保険料の負担が重くなるのが**“均等割”**。昭島市では世帯に子どもが1人増えるたびに年間39000円の負担が増えます。この負担を軽減するため、18歳以下の子どものうち**2人目の均等割額を半額に、3人目以降は9割軽減**しています。私たちも西宮市に対し同様の軽減策を求め続けていますが未だに実現できていません。昭島市の例を参考に今後も求め続けます。